

45	46	47
x	x	○
	○○県保福祉部地域医療整備課	
x	x	○
○	x	x
	○○県保福祉部地域医療整備課	該当組織無し
○	x	○
x	○	○
	○○県○○市 (県立○○病院)	○○診療所、○○診療所、 ○○診療所)
	外科	総合診療科
	14	1
6	8	9
①	①	①
①	①	⑤
①	①	①
①	①	④
①	①	①
①	④	①
7	4	15
0	1	23
x	x	x

4へき地医療拠点病院について		1	2	3	4	5	6	7
4-(1)	都道府県のすべてのへき地医療拠点病院について下記の項目について記載、選択してください。							
	ア)正式な施設名称							
	イ)開設者							
	ウ)所在地 (例:〇〇県〇〇市)							
	エ)全病床数							
	オ)全医師数(非常勤医師は常勤換算して下さい 加算して下さい)							
	カ)標準医師数(医療法施行規則第19条第1項に 基づく標準医師数)							
	キ)一日平均入院患者数(平成25年度実績)							
	ク)一日平均外来患者数(平成25年度実績)							
	ケ)巡回診療の実施回数と 延べ日数及び延べ受診患 者数 (平成25年度実績)	実施回数						
延べ日数								
受診患者延べ数								
	コ)医師派遣実施回数と延 べ派遣日数 (平成25年度実績)	実施回数						
延べ派遣日数								
	サ)代診医師派遣実施回数と 延べ派遣日数 (平成25年度実績)	実施回数						
延べ派遣日数								
	シ)初期臨床研修医数(平成25年度実績) (通年である場合以外は常勤換算と同じ手法で加 算して下さい)							
	ス)へき地医療を体験できる初期臨床研修プログ ラムの有無 (ある場合は○を、ない場合は×を選択してくだ さい。)							
	セ)医学生のへき地医療実習等への関与の有無 (平成25年度実績) (関与がある場合は○を、ない場合は×を選択し てください。)							
	ソ)ITによるへき地医療の診療支援の実施状況							
	タ)在宅医療の取組(在宅医療の実施もしくは支援 を行っている場合は○を行っている場合は×を 選択してください。)							
	チ)DPCで取得している病院群							
4-(2)	都道府県からのへき地医療拠点病院に対する支 援内容について記載してください。	補助金交付	国の補助制度を活用した 運営及び設備整備に係る 補助を行っている。	へき地の診療に要する経 費(運営費)を補助してい る。	代診医派遣に係る国の制 度を活用した補助金の交 付	補助金等	代診医派遣に要する経費 に対する助成(医療施設運 営費等補助金)	自治医大卒業生や修学資 金投資生とのへき地医療 拠点病院への配置。
4-(3)	へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動 機付けのための工夫をしている都道府県は○を、 していない都道府県は×を選択してください。	×	×	/	×	×	○	×
4-(4)	(3)で○を選択した都道府県はその内容 を記載してください。		—				代診医派遣要員として、自 治医大卒業生内医師又は 地域医療従事医師確保修 学資金の貸与を受けた医 師を配置している。	

■ へき地診療所の現

4.へき地医療拠点病院について		18	19	20	21	22	23	24
4-(1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点病院について下記の項目について記載、選択してください。								
ア)正式な施設名称								
イ)開設者								
ウ)所在地 (例:〇〇県〇〇市)								
エ)全病床数								
オ)全医師数(非常勤医師は常勤換算して下さい加算して下さい)								
カ)標準医師数(医療法施行規則第19条第1項に基づく標準医師数)								
キ)一日平均入院患者数(平成25年度実績)								
ク)一日平均外来患者数(平成25年度実績)								
ケ)巡回診療の実施回数と延べ日数及び延べ受診患者数(平成25年度実績)	実施回数							
	延べ日数							
	受診患者延べ数							
コ)医師派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)	実施回数							
	延べ派遣日数							
サ)代診医派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)	実施回数							
	延べ派遣日数							
シ)初期臨床研修医数(平成25年度実績) (適年である場合以外は常勤換算と同じ手法で加算して下さい)								
ス)へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムの有無 (ある場合は○を、ない場合は×を選択して下さい。)								
セ)医学生のへき地医療実習等への関与の有無 (平成25年度実績) (関与がある場合は○を、ない場合は×を選択して下さい。)								
ソ)ITによるへき地医療の診療支援の実施状況								
タ)在宅医療の取組(在宅医療の実施もしくは支援を行っている場合は○を行っていない場合は×を選択して下さい。)								
チ)DPCで取得している病院群								
4-(2) 都道府県からのへき地医療拠点病院に対する支援内容について記載してください。		運営費の補助	・施設・設備整備補助 ・運営費補助		自治医科大学卒業医師派遣・補助金(運営費、施設整備、設備整備)	へき地医療拠点病院の運営費に対して補助		運営費補助金
4-(3) へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのための工夫をしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。		○	×	/	○	×	/	×
4-(4) (3)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		・代診医派遣時に研修医が同行 ・拠点病院の医師が日本プライマリ・ケア学会による指導医の資格を取得 ・拠点病院での研修を実施			代診調整の際には院内の担当部署と連絡をとり、代診は不可であっても「へき地医療拠点病院」であることを認識してもらう。			

■ へき地診療所

4へき地医療拠点病院について		35	36	37	38	39	40	41
4-(1)	都道府県のすべてのへき地医療拠点病院について下記の項目について記載、選択してください。							
	ア)正式な施設名称							
	イ)開設者							
	ウ)所在地(例:〇〇県〇〇市)							
	エ)全病床数							
	オ)全医師数(非常勤医師は常勤換算して下さい加算して下さい)							
	カ)標準医師数(医療法施行規則第19条第1項に基づく標準医師数)							
	キ)一日平均入院患者数(平成25年度実績)							
	ク)一日平均外来患者数(平成25年度実績)							
	ケ)巡回診療の実施回数と延べ日数及び延べ受診患者数(平成25年度実績)							
		実施回数						
		延べ日数						
		受診患者延べ数						
	コ)医師派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)							
		実施回数						
		延べ派遣日数						
	サ)代診医派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)							
		実施回数						
		延べ派遣日数						
	シ)初期臨床研修医数(平成25年度実績)(通年である場合以外は常勤換算と同じ手法で加算して下さい)							
	ス)へき地医療を体験できる初期臨床研修プログラムの有無(ある場合は○を、ない場合は×を選択して下さい。)							
	セ)医学生へのき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実績)(関与がある場合は○を、ない場合は×を選択して下さい。)							
	ソ)ITによるへき地医療の診療支援の実施状況							
	タ)在宅医療の取組(在宅医療の実施もしくは支援を行っている場合は○を行っていない場合は×を選択して下さい。)							
	チ)DPCで取得している病院群							
4-(2)	都道府県からのへき地医療拠点病院に対する支援内容について記載してください。	へき地医療拠点病院運営費補助	自治医科大学卒業医師の派遣調整、運営費に対する補助	病院及びへき地巡回診療船の施設・設備・運営費補助、定期的・臨時的な代診依頼	代診派遣に要する費用の補助	施設整備、設備整備、運営費の補助(国庫補助事業活用)	へき地医療拠点病院運営費補助	へき地医療拠点病院なし
4-(3)	へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して助機付けのための工夫をしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。	○	×	/	×	×	×	
4-(4)	(3)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	へき地医療拠点病院運営費補助、へき地医療拠点病院である県立病院に県職員として自治医科大学医師を2人配置	へき地医療支援機構から代診医を派遣するなどのアシストを実施					

■ へき地診療所の現

42	43	44	45	46	47

状と実績については別紙

(国庫補助に基づく運営費及び設備整備費の補助)	医療施設運営費補助	国庫補助制度を活用した施設・設備・運営費に対する助成	国庫補助制度を活用した運営費の補助	国庫を活用し、運営費及び設備整備費の補助を行っている。	へき地医療拠点病院運営事業を行い、運営費の補助を行っている。
x	○	x	x	x	x
—	へき地診療所支援会議を開催し、県から拠点病院等に対して支援を要請。				

5.へき地診療所について	1	2	3	4	5	6
5-(1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点に診療所について下記の項目について記載、選択してください。						
ア) 正式な施設名称						
イ) 開設者						
ウ) 所在地 (例: ○○県○○市)						
エ) 全病床数						
オ) 全医師数						
カ) 現在の常勤医の勤続年数 (常勤医が複数いる場合は各々について記載してください。)						
キ) 一日平均入院患者数(平成25年度実績)(有床診療所のみ)						
ク) 一日平均外来患者数(平成25年度実績)						
ケ) へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムへの参加・ 関与の有無(平成25年度実績)						
コ) 医学生のへき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実 績)(関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)						
サ) ITによるへき地医療の診療支援の活用状況						
シ) 在宅医療の取組(在宅医療の実施を行っている場合は○を 行っていない場合は×を選択してください。)						
ス) 薬剤師が配属されている場合はその人数を記載してください。 いない場合は○と記載してください。						
5-(2) へき地診療所に対し、施設(特に代診医、医学生、研修医等のた めの宿泊施設等)整備の支援を行っている都道府県は○を、行っ ていない都道府県は×を選択してください。	○	×	/	○	×	○
5-(3) (2)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	診療所本体、 医師住宅(代 診医用含む)	—		国の補助金を 活用した医師 住宅等の施設 の整備を行っ ている。		医療施設等施 設整備費補助 金(国庫)によ る助成

■ へき地診療所の現状

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
と実績については別紙													
x	○	x	○	x	/	○	/	○	x	x	x		
	へき地診療所 が施設整備を 行う場合には、 費用の一部を 補助している		へき地診療所 運営費補助、 施設・設備整 備費補助			医師・看護師 住宅建築費補 助、施設整備 費補助、設備 購入費補助		施設整備の補 助(厚労省補 助事業の活 用)		—			

5.へき地診療所について	19	20	21	22	23	24						
5-(1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点に診療所について下記の項目について記載、選択してください。												
ア)正式な施設名称	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: black; margin-right: 10px;"></div> <h3>へき地診療所の現状と実績</h3> </div>											
イ)開設者												
ウ)所在地 (例:〇〇県〇〇市)												
エ)全病床数												
オ)全医師数												
カ)現在の常勤医の勤続年数 (常勤医が複数いる場合は各々について記載してください。)												
キ)一日平均入院患者数(平成25年度実績)(有床診療所のみ)												
ク)一日平均外来患者数(平成25年度実績)												
ケ)へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムへの参加・関与の有無(平成25年度実績)												
コ)医学生のへき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実績) (関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)												
サ)ITによるへき地医療の診療支援の活用状況												
シ)在宅医療の取組(在宅医療の実施を行っている場合は○を行っていない場合は×を選択してください。)												
ス)薬剤師が配属されている場合はその人数を記載してください。 いない場合は○と記載してください。												
5-(2) へき地診療所に対し、施設(特に代診医、医学生、研修医等のための宿泊施設等)整備の支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。							○	×	○	○	×	/
5-(3) (2)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	診療所・医師住宅・看護師住宅の新築・増改築及び改修		へき地診療所(医師住宅)施設補助金	市町等が行うへき地の病院、診療所及び診療所の医師看護師住宅の施設整備事業、へき地の診療所の開設者に無償貸与する目的で市町が診療所及び診療所の医師看護師住宅を整備する事業に対し県が補助								

5.へき地診療所について	36	37	38	39	40	41	42
5-(1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点に診療所について下記の項目について記載、選択してください。							
ア) 正式な施設名称							
イ) 開設者							
ウ) 所在地 (例:〇〇県〇〇市)							
エ) 全病床数							
オ) 全医師数							
カ) 現在の常勤医の勤続年数 (常勤医が複数いる場合は各々について記載してください。)							
キ) 一日平均入院患者数(平成25年度実績)(有床診療所のみ)							
ク) 一日平均外来患者数(平成25年度実績)							
ケ) へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムへの参加・ 関与の有無(平成25年度実績)							
コ) 医学生のへき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実 績)(関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)							
サ) ITによるへき地医療の診療支援の活用状況							
シ) 在宅医療の取組(在宅医療の実施を行っている場合は○を 行っていない場合は×を選択してください。)							
ス) 薬剤師が配属されている場合はその人数を記載してください。 いない場合は○と記載してください。							
5-(2) へき地診療所に対し、施設(特に代診医、医学生、研修医等のた めの宿泊施設等)整備の支援を行っている都道府県は○を、行っ ていない都道府県は×を選択してください。	○	○	×	×	×	×	○
5-(3) (2)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	へき地診療所 開設時の施設 整備に対する 補助を行った	設備整備費補 助					(国庫補助に 基づく診療所 及び医師住宅 の新築改修等 の補助)

■ へき地診療所の現状と実績

43	44	45	46	47
<p>については別紙</p>				
x	○	○	x	x
	国庫補助制度 を活用した診 療所、医師住 宅、看護師住 宅の新築・増 改築・改修工 事に対する助 成	国庫補助制度 を活用した施 設整備費の補 助		

	1	2	3	4	5	6
6-ヘキ地医療に従事する医師のキャリアデザインについて						
6-(1) 都道府県内の基幹型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、へき地医療を担う総合医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	×	○	○	×	○	×
6-(2) (1)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		基幹病院と地域の医療機関(へき地医療拠点病院、へき地診療所等)との勤務を確保し、訪問診療や包括ケアに係る実習を経験しながら、総合診療医としての知識や手技を身につけていくプログラム	・県立中郡病院「病院型総合医育成プログラム」 ・国保一関市藤沢病院「地域包括型総合医育成プログラム」		日本プライマリ・ケア連合学会認定プログラム	
6-(3) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。	×	○ ※現在作成中	○	○	×	×
6-(4) (3)で○を選択した都道府県は、その内容(作成者および対象、具体的内容等)を記載してください。		県が主体となり、修学資金貸与者及び自治医科大学卒医師を対象としたキャリアパスモデル集を作成・配布する。 ※予定	自治医科大学医師における職務履行期間中の配置先の配慮	○大学病院 地域医療重点コース		
6-(5) 都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、へき地診療所やへき地医療拠点病院等の関係者間で協議がなされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	×	○ ※予定	×	×	×	×
6-(6) (5)で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。		大学、県医師会、県内有識者、地域医療支援センター専任医師等				
6-(7) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを、平成29年度より開始される専門医制度に配慮して検討、作成している場合は○を、そうでない場合は×を選択してください。	×	○ ※現在作成中	×	×	×	×
6-(8) (7)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		上記(4)のついで、若手医師が○県での地域医療に従事する期間を組み込みながら、総合診療専門医をはじめとするキャリアをデザインできるようなモデル集とする。				
6-(9) へき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	×	×	×	×	×
6-(10) (9)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。						
6-(11) へき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	○	×	×	○
6-(12) (11)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		へき地等に勤務する自治医科大学医師に関しては、毎年、人事面談を実施し、個別の事情を考慮の上、配置している。	自治医科大学医師における職務履行期間中の配置先の配慮			へき地医療拠点病院からの代診医派遣
6-(13) へき地医療に従事する医師が産休、育休等臨機応変な休暇を取得できる体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	×	×	×	○
6-(14) (13)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		代診医派遣				へき地医療拠点病院からの代診医派遣
6-(15) へき地医療に従事する医師が、へき地での勤務に偏らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	×	×	×	○
6-(16) (15)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		へき地医療に従事する自治医科大学医師は、初期研修及び後期研修は、中核的病院での勤務が可能。				自治医科大学勤務内医師については、職務内の医師の話し合いにより、公平に勤務先を決めている。
6-(17) へき地医療に従事する医師の身分の扱いについて研修等で中核病院、大病院等にいる時も含み、具体的内容を記載してください。	派遣等の状況によって対応は異なる。	本県のへき地医療に従事する自治医科大学医師は、職務年限期間(初期及び後期研修期間を含む)は県の病院局職員の身分、うちへき地等の自治体医療機関に勤務する間は、県職員と市町村民員との併任の身分となる。	○県職員	常勤・非常勤の公務員、開業医、医療法人		自治医科大学勤務内医師については、原則、後期研修終了前は県立中央病院付、後期研修終了後は派遣先病院職員となる。

7	8	9	10	11	12	13
○	○	×	×	×	/	/
県立医科大学地域医療・家庭学講座における総合研修プログラム	〇〇総合診療研修プログラムとして県立中央病院、〇〇大学附属病院、株式会社〇〇製作所〇〇総合病院で総合診療医(家庭医)のプログラムを運用					
×	○	×	×	○	×	今後、地域医療支援センター運営委員会で検討予定
	修学生医師や自治医科大学卒業医師が職務を履行しつつ専門医(総合診療)を取得できるよう大学や病院等と検討している			〇〇県総合医局機構が、〇〇県で働くことを希望する医師が基本領域その他(新専門医制度の)専門医資格を取得できるキャリアデザインを検討中		
×	×	×	×	×	×	×
○	○	×	×	○	×	×
既存の総合医養成プログラムをベースとし、新専門医制度に対応したプログラムを作成予定	修学生医師や自治医科大学卒業医師が職務を履行しつつ専門医(総合診療)を取得できるよう大学や病院等と検討している			〇〇県総合医局機構が、〇〇県で働くことを希望する医師が基本領域その他専門医資格を取得できるキャリアデザインを検討中		
×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	○	×	○
				欠員等が発生した場合は、他機関から代替医を派遣する体制を整備している。		へき地勤務年次の差数な対応 ・家庭状況等により派遣先を考慮 ・自治体職員としての休暇、福利厚生等での対応
○	×	×	○	×	×	○
へき地診療所に従事する医師が休暇などを取得する際の代替医派遣のシステムがある。			市町村の産休・育休制度等			研修休暇等でへき地を離れる場合に、代替医の派遣体制を整備している。
○	×	×	×	○	×	/
週に1回の医科大学等での研修を行っている				(自治医大卒医師について) 義務年限中にへき地以外の病院での臨床・後期研修の期間を設けている。		〇〇県及び大学病院等からの派遣医師に関しては、へき地での連続派遣期間は、ほぼ1年から2年の体制。
義務年限中の自治医科大学卒業生については、県の身分を有したまま市町村への自治法派遣。 その他については、市町村の身分を有している。			勤務先病院の職員、診療所を配置する市町村の職員	(自治医大卒医師について) 県職員として採用するが、派遣した際は派遣先が雇用主となる。 ※ただし臨床研修中は県職員の身分		①自治医大卒業医師(義務年限内)及び〇〇県地域医療支援ドクターは、都常勤職員のまま自治法派遣し、町村の身分を併任 ②〇〇県へき地勤務医師等確保事業に基づき大学病院からの派遣医師は、身分は派遣元職員のまま。 ③町村の固有医師は、町村の正規職員又は個人委託等

6.へき地医療に従事する医師のキャリアデザインについて		14	15	16	17	18	19
6-(1)	都道府県内の高齢型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、へき地医療を担う総合医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	/	×	○	○	○	○
6-(2)	(1)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。			日本プライマリケア学会による後期研修プログラムに関する規則に則り、地域医療の基本を研修し、家庭医/総合医を育成する。	日本プライマリケア学会連合会の認定プログラムを取得し、○北都4病院及び○総合病院での研修により総合医の育成可能	○県家庭医養成キャリアアップコース ○県立病院や公立診療所にて2年間研修した後、へき地を含む公的医療機関にて1年間勤務する。	地域において質の高いプライマリケアを提供し、地域の人々の健康を増進するための幅広い知識・技能・態度を習得するためのプログラム
6-(3)	都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。	/	○	×	○	×	×
6-(4)	(3)で○を選択した都道府県は、その内容(作成者および対象、具体的内容等)を記載してください。		地域医療支援センターにおける奨学金貸与医師の卒業後のキャリアモデル例等の作成		地域枠の配置について検討中		
6-(5)	都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、へき地診療所やへき地医療拠点病院等の関係者間で協議がなされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	/	○	×	×	×	×
6-(6)	(5)で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。		市長会代表、町村会代表、へき地医療拠点病院長				
6-(7)	都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを、平成29年度より開始される専門医制度に配慮して検討、作成している場合は○を、そうでない場合は×を選択してください。	/	×	×	○	×	×
6-(8)	(7)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。				詳細は未定		
6-(9)	へき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	/	×	×	×	×	×
6-(10)	(9)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。						
6-(11)	へき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	/	×	×	○	○	○
6-(12)	(11)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。				産休・育休の取得、療の設置	短時間勤務や育児休暇の取得、院内保育所の活用などを推進している。	・代わりの医師による対応 ・院内保育所及び医師住宅の整備
6-(13)	へき地医療に従事する医師が産休、育休等臨機応変な休暇を取得できる体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	/	×	×	○	○	○
6-(14)	(13)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。				(自治医卒業医師について)勤務先病院と県が協議し、休暇を取得できるように配慮する。	代診制度を設けており、休暇を取得できる。	・代わりの医師による対応
6-(15)	へき地医療に従事する医師が、へき地のみの勤務に陥らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	/	○	×	○	○	○
6-(16)	(15)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		自治医大卒医：へき地勤務前の配置前研修の実施、勤務年限内での後期研修期間の設定		自治医科大学卒で勤務年限中の医師について、へき地勤務は勤務年限9年のうち5年のみとしていること及び帰学日の設置	へき地勤務期間中の週1回の帰学日を設けており、県立病院等にて研修できる。	・ローテーションによるへき地医療への従事 ・週1回の他の医療機関への研修
6-(17)	へき地医療に従事する医師の身分の扱いについて研修等で中核病院、大病院等にいる時も含み、具体的内容を記載してください。		自治医大卒医は、初期研修1年目のみ新潟大学医学部総合病院の非常勤医師、以後、勤務年限終了までは県職員	原則、各病院の正規職員	(自治医卒業の勤務年限中医師は県職員だが、へき地医療機関での勤務時はへき地医療機関の職員(市、町職員)となる	当該自治体(市町)の職員	一部の市町村で診療を指定管理・委託等しているが、多くは市町村職員(常勤・非常勤)としての身分を有する。

20	21	22	23	24	25	26
x	x	○	x	○	x	○
		○○県東部・○○地域の病院・診療所が連携し、家庭医療専門医を養成		・○○県地域医療支援センターの「家庭医(総合診療)専門医後期臨床研修プログラム」 ・○○県地域医療研修センターの「METCHへき地医療研修プログラム」		KMCCキャリアパス(総合内科・総合診療科コース、救急科コース)4年以内、5年間で、総合内科、救急科専門医の早期取得を目指す
x	x	x	x	○	x	○
				地域の医療機関を含む複数の県内医療機関をローテーションしながら専門医資格を取得できるプログラム、修学資金貸与者等が対象。		地域医療支援センターの事業として、へき地医療に従事する場合も含む医師のキャリアパスモデルを作成
x	○	x	x	x	x	○
	○○大学医学部附属地域医療医学センター、県内代表医療機関の地域医療研修担当医師等			※今後検討を行う予定		地域医療支援センター運営会(へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院、臨床研修病院、県内大学、医療関係団体等)
x	x	x	x	/	x	○
						国庫補助金を活用した専門医養成プログラムの作成費用補助
x	x	x	x	x	x	○
						大学院学費免除制度、医師確保困難地域の医療機関での勤務実績のある医師に対し、県内大学院進学の学費を免除
x	x	○	○	x	x	○
		代診医の派遣	自治医卒医師については、派遣先病院で支援をうけている。			医師住宅の無料化 院内保育所の設置
x	x	x	○	x	x	○
			・育児休業の取得(ただし、対象は職務年限中の自治医科大学卒業医師) ・代診医派遣で対応(ただし、対象はへき地診療所)			条例(自治体立病院の場合)や所属機関の規程に定める範囲内で保証
x	x	x	○	○	x	○
			自治医科大卒医師については、職務年限及び職務年限終了後希望した場合(最長5年)のへき地勤務においては、週1日研修日を設けることができ、へき地以外の病院で研修を受けることができる。	(4)を参照。		KMCCキャリアパス及び大学院学費免除などを活用することで、県内帰還しつつキャリアアップする仕組みの構築
	○○県職員	自治医科大学卒業職務年限内医師は県職員、その他は特に定めなし	自治医科大卒医師については、職務年限及び引き続きへき地勤務を希望すれば最長5年、県・市町村職員(併任)の身分を保有できる。	各病院の職員として位置づけ。		自治体立病院の場合は公務員、運営主体が民間の場合は民間職員(ただし、公立病院からの異動の場合は公務員の身分を引き継ぐ)

	27	28	29	30	31	32
6-ヘき地医療に従事する医師のキャリアデザインについて						
6-(1) 都道府県内の基幹型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、ヘき地医療を担う総合医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。		×	○	×	○	○
6-(2) (1)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。			1年目 ヘき地医療拠点病院の総合内科 2,3年目 ヘき地診療所での勤務		プライマリ・ケア連合学会後期研修プログラム	「○○県総合医・家庭医育成ネットワーク」パンフレットを参照
6-(3) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したヘき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。		○	○	○	○	○
6-(4) (3)で○を選択した都道府県は、その内容(作成者および対象、具体的内容等)を記載してください。		中核となるヘき地医療拠点病院とそれ以外の小規模な病院間を定期的に異動させキャリアを積むこと、また後期研修で大学等に戻り研修を重ねる機会を考えている。	○○県立医科大学地域医療学講座が作成 ○○県の研修資金等の貸与を受けた医師が対象	県地域医療支援センターで家庭医の専門医資格取得のプログラムを作成中	内容については検討中	「○○地域医療支援センター」パンフレットを参照
6-(5) 都道府県の事情等を反映したヘき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、ヘき地診療所やヘき地医療拠点病院等の関係者間で協議がなされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。		○	×	○	×	○
6-(6) (5)で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。		大学関係者、ヘき地医療拠点病院等		関係医療機関等		ヘき地医療拠点病院、医育機関、研修医、県等
6-(7) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したヘき地医療に従事する医師のキャリアデザインを、平成29年度より開始される専門医制度に配慮して検討、作成している場合は○を、そうでない場合は×を選択してください。		○	×	○	×	○
6-(8) (7)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		職務年限の9年間で専門医資格がとれるよう配慮		総合診療医の資格取得の体制整備		大学、大規模病院、地域中小規模病院のローテーションを含む、新専門医制度に対応したキャリアプランが出来るよう検討中。
6-(9) ヘき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。		×	×	×	○	×
6-(10) (9)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。					2週間に1回カンファレンスに参加 プライマリ・ケア連合学会後期研修プログラム	
6-(11) ヘき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。		○	○	×	○	○
6-(12) (11)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		子育て中の保育所への送迎に当たり、当直及び残業の免除等、一定の配慮をしている。	本人の希望、家族の状況等を考慮した上で、配置を決定		状況に応じて対応	○○地域医療支援センターによる出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるため相談窓口の設置。
6-(13) ヘき地医療に従事する医師が産休、育休等産後ケア休暇を取得できる体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。		○	×	○	○	○
6-(14) (13)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		産休及び育休の取得をはじめ、年休も可能な限り取得できるよう配慮している。			代診医の派遣	代診医派遣制度
6-(15) ヘき地医療に従事する医師が、ヘき地以外の勤務に偏らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。		○	○	×	○	○
6-(16) (15)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		別添「県養成医師の研修及び派遣に関する要綱」とおり	ヘき地医療拠点病院や県立医大附属病院等での研修		中核病院での研修 センター病院での勤務(センター病院での勤務時は代診医を派遣)	県職員医師の派遣については、勤務希望調査を行った上で、「地域医療対策協議会」において関係機関と調整を行い派遣する。
6-(17) ヘき地医療に従事する医師の身分の違いについて研修等で中核病院、大病院等に在籍する場合も、具体的な内容を記載してください。		県正規職員	県職員として市町村へ派遣 研修中については、県立病院であれば県職員、他団体であればその団体に属する	勤務医療機関の職員	特になし	自治医科大学卒業医師等県職員医師の場合、研修等で派遣されている間も県職員の身分を併せ持つ。

33	34	35	36	37	38	39
x	○	○	○	○	x ※策定に向けて検討中	○
	○○大学病院(総合内科・総合診療科 研修コース) 県立○○病院(総合医養成コース)	総合的な診療能力を有し、プライマリ ケアを果敢とする医師を養成(家庭医 療専門医、認定内科医の取得を目指 す)	へき地診療所を含む複数の医療機関 が連携したプログラム	複数の医療機関をローテーションしな がら研修を実施		1年目にへき地診療所で「専門研修」を 行う。2-3年目に地域の中核病院の 「内科」にて、総合医としての意欲とな る臨床能力を獲得する。また同病院に て「小児科」、さらにニーズに応じて「領 域別」研修を行う。
x	○	○	○	x	○	x
	地域枠の奨学生を対象としたキャリア プランを作成中	医師修学奨学金受与者でへき地勤務 の義務を有する者のキャリア形成モデル プランを作成	へき地診療所を含む複数の医療機関 が連携したプログラム	—	○○県地域医療支援センター	
○	x	○	○	x	○	x
自治医科大OB、行政(県)		各へき地医療拠点病院、○○大学、県 医師会、関係市町、担当者	へき地医療拠点病院の関係者	—	へき地医療支援機構専任担当官	
x	○	x	○	○	○	x
	○○大学医学部附属病院、県立○○ 病院等にて作成		新専門医制度の内容にそった研修プ ログラムの作成	検討中	○○県地域医療支援センター運営委 員会キャリア形成支援部会による検 討。	
x	x	x	x	x	x	x
				—		
○	○	○	○	○	○	○
派遣先の病院(市町)が定める制度を 利用	産育児休職取得、勤務時間調整	快適な住環境の整備等をへき地診療 所設置市町に依頼	へき地医療拠点病院からの応援診療 や地元市町社とも連携した保育等の 確保	育児短時間勤務等	医師の希望を、勤務先の診療所の運 営者に伝えている。	へき地医療支援機構において代診医 の派遣調整及び派遣を行う。 また、○○県へき地医療協議会を構成 する医師については、本人の意向及び 家庭の事情を考慮した人事配置を行 う。
○	○	○	○	○	○	○
派遣先の病院(市町)が定める制度を 利用	代診医派遣	代診医の派遣	へき地医療拠点病院からの応援診療	育児短時間勤務等	代診医派遣制度の活用。	へき地医療支援機構において代診医 の派遣調整及び派遣を行う。
○	○	x	○	○	x	○
スキルアップのため週1回希望病院で の研修を実施	地医療機関での研修		自治医科大学卒業医師(義務年限内) について研修を繰り交えた勤務ロー テーションを設定	へき地以外の配置予定医療機関有	制度化は行っていないが、医師の希望 を尊重しながら配置先の決定を行って いる。	○○県へき地医療協議会の医師につ いては、本人の意向を考慮した人事配 置を行うとともに、本人の希望する病 院で1年間の後期研修を実施する。
義務年限中の自治医大卒業医師につ いては研修中は県職員、派遣中は派遣 先と県職員の併任	自治医科大学卒業医師及び奨学生 については、義務年限内は原則県職 員。	へき地診療所の設置市町の職員	自治医科大学卒業医師(義務年限内) については県職員として任用。	自治医科大学 公務員 ○○大学修学奨学金受与者、配置先病 院で採用	勤務先の身分。	○○県へき地医療協議会の医師につ いては、初期研修中は県職員、それ以 降は市町職員(後期研修中もきめ で)。

6へき地医療に従事する医師のキャリアデザインについて	40	41	42	43	44	45
6-(1) 都道府県内の基幹型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、へき地医療を担う総合医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	×	×	○	○	×	×
6-(2) (1)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。			○〇地域医療人材支援センターにおいて、県内4医療機関が連携して、「総合診療専門医養成プログラム 〇〇県版モデル」を作成	日本プライマリ・ケア連合学会後期研修プログラム		
6-(3) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。	×	×	○	×	×	×
6-(4) (3)で○を選択した都道府県は、その内容(作成者および対象、具体的内容等)を記載してください。			①作成:県、対象:県産産科、再研修・再々研修によりキャリア形成を図っている。 ②作成:〇〇地域医療人材支援センター、対象:センター登録医師、医師との面談等によりキャリアデザインを作成することとしている			
6-(5) 都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、へき地診療所やへき地医療拠点病院等の関係者間で協議がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	×	×	×	○	×	×
6-(6) (5)で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。			—		自治医科大学卒業医師を派遣している医療機関等へ、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラムへの参加・検討を促しており、大学をはじめとする県内の医療機関が参加するプログラムの作成を支援している。	
6-(7) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを、平成29年度より開始される専門医制度に配慮して検討、作成している場合は○を、そうでない場合は×を選択してください。	×	×	○	×	×	×
6-(8) (7)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。			現在、〇〇大学病院、〇〇医療センターと検討を行っている。			
6-(9) へき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	×	×	×	×	×
6-(10) (9)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。			—			
6-(11) へき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	×	○	×	×
6-(12) (11)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		自治医科大学卒業医師の配置について配慮している	—		自治医科大学卒業医師が育児休暇を取った際の医療機関の派遣の解除	
6-(13) へき地医療に従事する医師が産休、育児等臨機応変な休暇を取得できる体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	×	○	×	×
6-(14) (13)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		育児休暇、育児短時間勤務制度	—		支援機構による代診医の派遣調整	
6-(15) へき地医療に従事する医師が、へき地での勤務に偏らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。	×	○	×	○	×	○
6-(16) (15)で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。		自治医科大学の医師については週1回、本土での研修を実施している	—		へき地診療所勤務の前は、へき地医療拠点病院等の中核病院での勤務としたり、週1回の研修日や1年の後期研修(専門研修)の機会を準備している	卒業5年目研修(業務外)の実施
6-(17) へき地医療に従事する医師の身分の扱いについて研修等で中核病院、大病院等にいる時も含み、具体的内容を記載してください。	自治医科大学卒業医師(市町村派遣)のみ(県対応のみ)その他、〇〇市、〇〇市(鹿児島へ)	自治体職員(県、市)	〇〇県病院企業団所属の医師	県職員の身分と配置先の自治体の身分を併せ持つ	勤務先医療機関の身分を有する。	へき地勤務及び卒業5年目研修:県職員・後期研修:研修先病院職員(ただし大学病院の場合、身分は県職員で、大学と派遣協定)